

平成23年8月25日

阿部野橋ターミナルビル 名称を「あべのハルカス」に決定

～平成26年春、日本一の高さを誇る大阪の新しいランドマークが誕生～

近鉄では、平成26年春のオープンを目指し、高さ日本一となる300mの超高層複合ビル「阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）」（地下5階、地上60階）の建設工事を鋭意進めています。

このたび、当ビルの名称を「あべのハルカス」とし、ロゴマークを決定いたしました。

「あべのハルカス」は、大阪阿部野橋駅の直上に日本最大級の売場面積を誇る百貨店をはじめ、関西初進出となる「大阪マリOTT都ホテル」、最先端の大規模オフィス、都市型美術館、展望台などで構成する超高層複合ビルです。近鉄は「あべのハルカス」の開業により、アベノ・天王寺地区の都市機能の充実を図り、ターミナルとしての拠点性、魅力度を飛躍的に向上させていきたいと考えています。

■名 称 あべのハルカス

「ハルカス」は、「（人の心を）晴らす、晴れ晴れとさせる」という意味を持つ、いにしへの言葉「晴るかす」から名付けたもので、このビルを訪れる人に晴れ晴れとした爽快感や心地よさを提供し、「あべのハルカス」から未来への希望を発信したいという思いを込めています。

■ロゴマーク



名称コンセプト、ロゴマークのデザインコンセプト等の詳細は別紙のとおりです。

別紙

1. 「あべのハルカス」名称コンセプト

こころ、晴るかす。
みらい、晴るかす。
やさしい光に包まれて
心地よい明日が見えてくる。
大阪の新しいランドマーク
あべのハルカス。

晴るかす。
それは、「晴れ晴れとさせる」を意味する古語。
地上 300 メートルの最上階からは、広く大阪を一望でき、
まさに晴れ晴れとした気分を味わえます。
そして、多様な施設や機能は、さまざまな思いにお応えし、
心地よい時間と空間を提供します。
あべのハルカスは未来を発信する立体都市です。

2. ロゴマークデザインコンセプト

【デザイン】

ロゴマークはビルの外観をモチーフに、3つの重なる四角形が、その高さや機能が織り成す複合性を象徴化しています。これは「あべのハルカス」が、高さ 300m の超高層建築にさまざまな施設や機能を集積した「立体都市」であることを表しています。ロゴタイプ・デザインは“親しみやすさ”と“モダンな雰囲気”の共存を意識しています。

【カラー】

ロゴマークのカラーは、日本古来の色で、万葉集でも「茜（あかね）さす」として、光を表す言葉となっている「茜色（あかねいろ）」と「墨色（すみいろ）」を基調とし、明るい茜色と対照的な墨色の取り合わせによって、「あべのハルカス」が持つ、多様性を表しています。

3. 専用WEBサイト

名称決定に伴い、専用 WEB サイトを本日よりリニューアルいたしました。「あべのハルカス」の概要については、ホームページ(<http://www.abenoharukas-300.com>)からもご覧いただけます。

4. 「あべのハルカス」概要

所 在 地：大阪市阿倍野区阿倍野筋 1 丁目 1-43
開 業 予 定：平成 26 年春
敷 地 面 積：約 28,700 ㎡
延 床 面 積：約 212,000 ㎡(既存建物と合わせて約 306,000 ㎡)
高 さ：300m、地下 5 階・地上 60 階
フ ロ ア 構 成：B2-14F 百貨店(約 83,000 ㎡)
16F 美術館
17・18F,21-36F オフィス(約 62,000 ㎡)
19・20F,38-55F,57F ホテル(約 32,000 ㎡)
58-60F 展望台

設 計：株式会社竹中工務店
外観デザイン設計監修：シーザー・ペリ氏（ペリ クラーク ペリアーキテクト代表）
施 工：竹中工務店、奥村組、大林組、大日本土木、銭高組共同企業体



「あべのハルカス」完成後イメージ

以 上